



CHARTERED JAN,3, 1980

THE SERVICE CLUB TO THE YMCA  
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUB

# 仙台青葉城ワイズメンズクラブ

THE Y'S MEN'S CLUB OF SENDAI-AOBAJOH

Sendai YMCA, 9-7 Tachimachi, 〒980-0822  
Aobaku, Sendai 980-0822 Japan 仙台市青葉区立町9-7 仙台YMCA内  
TEL(022)222-7533 FAX(022)222-2952 E-mail:info@sendai-ymca.org

== 2015~2016年度 主題 ==

- 国際会長【信念のあるミッション】Wichian Boonmapajorn (タイ)
- アジア地域会長【愛をもって奉仕をしよう】Edward K.W.Ong (シンガポール)
- 東日本区理事【原点に立って、未来へステップ】渡辺 隆 (甲府)
- 北東部部長【今と原点を融合して未来へ】中川 典幸 (仙台)
- クラブ会長【未来を信じて共に歩もう】菊地 弘生 (仙台青葉城)

**VOL. 389**

2015年12月

## 強調月間：EMC / MC (会員増強・会員意識の高揚)

### <今月の聖句>

後ある者は先に、先なる者は後になるべし。

(マタイによる福音書第20章16節)

## 若いメンバーを増やすには！

～12月は会員増強と維持啓発の月～

昨年度会員増強事業主任として、東日本区各クラブの会員推移を一年間見守ってきましたが、入退会の結果を見ると退会者のほうが上回り、会員増強の難しさを痛感致しました。その退会理由を見てみると、死去に伴う退会、病気(高齢)のため休会、50～60代では親の介護など高齢化社会ならではの退会が多かった事が印象に残っております。

では若い会員を増やすのにはどうしたら良いかと考えていましたが、最近ではインターネットを通じ、FacebookやTwitterなどでいろいろな人と会話ができるツールを多く使用している若い人たちを多く見かけます。特に20～30代ではこれらのツールを通じた友達関係(バーチャル的なお付き合い)が普通になってきているような気がします。会社の上司に誘われても、夜の飲み会に参加しない若者が多いと聞きますが彼らにとっては、早く家に帰り気の合う仲間とパソコンやスマホに向き合いバーチャル的な会話をしているほうが楽しいのかも知れません。しかし時代が変わっても面と向かっての人付き合いは無くなることはありません。

会社の上司に付き合いをされるのが嫌でも、ワイズの誘いや、奉仕活動には喜んで行けるようなクラブにして



副会長・会員増強事業  
委員長  
**涌澤 博**  
(仙台青葉城クラブ)

いく必要があると思います。またバーチャルツールを使って若い世代にクラブの魅力を伝えることも必要でしょう。

12月はEMC-MCの月ですが、ロースター65ページのワイズ用語に『MCは会員増強と維持啓発(新会員獲得と会員意識の高揚)の意。ワイズメン運動の拡大強化を図る。絶えざる課題として努力を続ける必要がある』と記載されています。用語集の中に《会員増強の課題を設け努力する必要がある》のような記載(表現)があるのは、EMCの欄だけで文献の皆様によるEMCへ対する思いがこんなところにも感じ取ることができます。今月はその“絶えざる課題”の意味を理解し、どのように努力して行くかを皆さんで考えてみてはいかがでしょうか。

11月例会				B F		スマイル	
会員数	13名	メネット	3名	切手	0 kg	今月	10,000円
出席者	8名	ゲスト	1名	現金	0円	累計	61,810円
Make-Up	1名	出席率	68%	累計	0円	ファンド	83,000円

- 会長 菊地 弘生
- 副会長 涌澤 博
- 書記 加藤 重雄
- 会計 遠藤 勝志
- 直前会長 南澤 一右
- メネ会長 佐藤あつ子
- 担当主事 青木 絵美

## 11月第一例会報告

日時 2015年11月19日(木) 18:45~20:45

場所 仙台YMCA会議室

出席者 青木(絵)、尾木、加藤、菊地、佐藤(あ)、  
清水、南澤、涌澤

<メネット> 加藤、金原、岸田

<ゲスト> 前田風子さん(YVLF参加者)

司会 清水弘一メン(報告)

### ~リーダーズフォーラムで学んだこと~

11月の本例会は、9月11日~13日、東京YMCA山中湖センターにおいて開かれたリーダーズフォーラムに参加した前田風子さん(濱塚牧人君は大学の授業で欠席)をゲストスピーカーに招いて行われた。バスプロがきっかけでリーダーになった前田さんは今回が初めての経験で、3日間一緒に過ごしたリーダー仲間と講師、スタッフ、ワイズ関係者との出会いには強烈な印象を受けたようである。



フォーラムのテーマは“今、リーダーに求められること”を、①リーダーズフォーラムで学んだこと。②仙台YMCAが凄い所。③リーダーの皆さんに伝えたいこと、推進したいこと等をいきいきと語った。

(下記の感想文をお読みください) またフォーラム期間中、特に印象に残ったことを述べた(↑写真右・前田さん)

- ・楽しいキャンプソングを覚えた。
- ・緑がきれい、美しい富士山が見られた。
- ・夜中、朝 2~3 時頃まで仲間たちと話し合ったり、ゲームをしたり、他のYMCAのプログラムを教え合ったりした。
- ・子どもたちの視点で物事を見ることの大切さを学び、これからはもっと子どもたちを愛していきたいと思う。
- ・リーダーに求められることは、これからもずっと考え続けることが必要と思う。

最後に前田さんは、これからの進路として、リーダーになって選択肢が増えたので大学院に進み、教員の免許を取り、保育士を目指したいとの意気込みを語ってくれた。(↓富士山と山中湖をバックに全員撮影)



### リーダーズフォーラムの感想

#### ▼ 前田 風子さんより

今回、リーダーズフォーラムに参加し他県のYMCAの方々にはたくさんの良い刺激をいただきました。特に今回感じたことは、歌のすばらしさです。フォーラムでは牧人くん以外全員と初対面でした。東京や横浜YMCAの人たちはリーダートレーニングを合同で行うことがあるらしく、顔見知りがいりしてました。私は知り合いもなく、みんなと打ち解けられるかどうか不安になりました。しかし、みんなと歌を一緒に歌ったとき、自然と心が打ち解けて仲間になれた気がしたのです。この不安な気持ちはメンバーもよく体験していると思います。その気持ちを今回のフォーラムで実際に体験することができました。私は、野外活動やキャンプのプログラムによく参加するのですが、仙台YMCAでは歌をうたうことが少ないと感じました。これを機に、「歌うキャンプ」をプログラミングしてみたいという目標ができました。ちょっとした隙間の時間や、ごはんの時間、朝のつどいで、歌をみんなでうたうと体が元気になりますし、楽しい気持ちになります。今回フォーラムで覚えた歌も仙台YMCAに広げていきたいです。(→フォーラムでの仲間とともに)



#### ▼ 濱塚 牧人君より

私は、9月11日から13日まで第28回ユースボランティア・リーダーズフォーラムに参加させていただきました。今回のリーダーズフォーラムのテーマは「今、リーダーに求められていること」というものでした。私たちのグループでは子どもたちの笑顔をつくるのがリーダーには求められていると考え、笑顔について深く話し合いました。また、リーダーズフォーラムに参加するにあたって私は、様々な地域のリーダー達と話し、自分のリーダーとしての姿の見直すことと、様々なスキルを向上させることを目標としていました。リーダーたちと話したことで、自分のリーダーとしての課題の発見や悩んでいることの解決などにつながりました。また、カウンセラーリーダーをよく観察することで、伝えること、楽しむこと、注意することなどたくさんのことが吸収でき、私の成長につながりました。これから私は今回学んだことを仙台YMCAのリーダーたちに伝え、子どもたちの笑顔を作れるリーダーになっていきたいです。

## 12月第二例会報告

日時 2015年12月3日(木) 18:45~20:30  
場所 仙台YMCA会議室203  
出席者 青木(絵)、尾木、菊地、加藤、佐藤(あ)、  
清水、南澤(司会担当)、涌澤  
議事

- 1) 12月12日(土)クリスマス例会について
  - ・場所 NPOプラザ レストランオリーブの風
  - ・時間 受付17時、礼拝17:30 祝会18時
  - ・会費 メン・メネット5,000円、ゲスト2,000円  
コメント無料
  - ・プログラム・その他
    - ①オークション一品以上持参 ②プレゼント交換500円程度 ③食事予算@3,000円 ④アルコール類差し入れ歓迎 ⑤礼拝司会/南澤メン ⑥祝会司会/涌澤メン
- 2) その他活動報告・連絡事項
  - ・3クラブ実行委員会より(菊地)
    - 11月21・22日開催された第3回被災地小学校サッカー交流&リーダーズアクトの報告
  - ・石巻新クラブ設立準備委員会報告(清水)
    - 11月28日(土)に(仮)石巻広域クラブの第1回準備例会が石巻センターにおいて、ゲストスピーカーに田中直前理事を招いて開催された。次回は、2016年1月23日(土)、第3回準備例会は2016年2月20日(土)に開催されることになった。
  - ・メネット会より(加藤)
    - 今年度の区メネット委員会が42名のメン・メネットが参加して熱海市で開催された。富士山部からも多数参加して下さり有意義な委員会となり、仙台ともりおかクラブからは加藤、田村、井上メネットの3名が出席した。
  - ・第2回北東部評議会の報告(菊地会長)
    - 11月28日(土)宇都宮市で北東部評議会が開催され、その報告が会長よりあった。(内容は本号北東部評議会を参照)
  - ・YMCAより(青木担当主事)
    - ①街頭募金の実施 12月23日(祝)13:30~
    - ②第30回タイワークキャンプ参加者募集中  
2016年2月22日(月)~3月2日(水)
    - ③仙台YMCA職員全体研修会  
2016年2月11日(祝)9時~15時半  
終了後、創立110周年記念シャンソンコンサート(16時~17時30分、仙台市民活動サポーターセンター)
- 3) 閉会点鐘 菊地会長

## 第44回仙台YMCAクリスマス報告

今年で44回目となる仙台YMCAクリスマス(横倉純実行委員長)が12月2日(水)、仙台市民会館地下展示室で行われた。40名を超える留学生とその家族、YMCAに連なる関係者、一般市民など約350名の参加者で賑わいました。市民クリスマスとして始まった44年前の1971年(昭和46年)は、アポロ14号が月に着陸、横綱大鵬が引退、三島由紀夫が亡くなった年でした。手作りのクリスマス会として年々留学生の参加者も増え、年末の市民交流行事として定着してきました。出される料理も多種で、ワイズメネットのおもてなし料理は特に人気の的でした。

第一部の礼拝では、讃美歌を全員で合唱、いずみ愛泉教会佐藤真史牧師よりクリスマスメッセージをいただきました。(↓写真)



第二部の交流会では、ボランティアリーダーの皆さんのリードで演奏やゲーム大会、抽選会などで会場は大いに盛り上がりました。あちこちで留学生を囲んでの交流の輪が作られ、とてもアットホームな雰囲気の中で行われました。(↓写真左)



また会場には、クリスマスカードコンテストの作品が展示され、入賞者に賞状と記念品が贈られました。(↑写真右) 審査委員には、仙台広瀬川の伊勢文夫ワイズと仙台青葉城クラブの金原譲ワイズが担当しました。(↓最優秀賞作品)



▼ 石巻市・雄勝町名振地区「津波の石碑」の計画が進んでいます。

約2年前、被災地の復興事業が最も遅れている雄勝町名振地区住民からの要請によって進められてきた計画が、建立場所も正式に決まりました。地区住民の皆さんや寄贈者のミサワホームさんとの何回かの協議を得て、石碑の制作内容と今後のスケジュールが決まりました。年内には基礎工事を完了し、明年2月中旬には完成の運びとなり、2月27日(土)には現地にて関係者が出席して除幕式を行うことになりました。(↓完成予想パース)



▼ 震災から4年9ヵ月、被災地は“いま”

東日本大震災発生からまもなく5回目の新年を迎えようとしています。仮設住宅から新しい復興住宅への移転が進んでおりますが、宮城県では約5万人の方々が仮設住宅で年越しをされる予定です。

福島県では第一原発事故の影響で6町村の全住民が避難生活を強いられています。過日の地元新聞に、南相馬市で、福島第一原発事故で市外に自主避難している住民を対象に意向調査を始めて実施し、その結果の記事が載っていた。市内に戻る可能性を尋ねた質問では、戻る可能性50%以上は43.7%に対し、50%未満が49.3%で帰還に否定的な人が半数に迫ったという。戻らないと決めた理由では、「放射能への不安」が48.3%と最も多く、「避難先での生活が落ち着いた」が40.7%で続いた。

先日政府は、これからの除染作業は、山林を対象から外すと発表した。指定廃棄物の受け入れで住民の反対で暗礁に乗り上げた宮城県、被爆した牛を飼育する牧場を支援するため、隣接する宮城県側の畜産農家が汚染牧草を提供したため、受け入れ側の町と持ち込み側の市とのトラブルに発展したことなど。これから避難区域が解除されても本当に住民の健康は保証されるのであろうか。

▼ 仙台YMCA創立110周年記念事業・大震災復興支援コンサートの開催

明年2月11日(祭)仙台市民活動サポートセンター・市民活動シアターで開催されます。コンサートは、YMCAの職員全体研修会が終了後、開催されます。開演は午後4時です。



仙台YMCA創立110周年記念コンサート  
ISEKI MASATO  
**井関 真人**  
＜ピアニスト 久保田 廣和＞  
東日本大震災復興支援 シャンソンコンサート

日	時	2016年2月11日(木)	午後4時から午後5時30分
場	所	仙台市民活動サポートセンター 市民活動シアター (仙台市青葉区一番丁四丁目1-3) 地下鉄南北線広瀬通駅西5番出口すぐ	
対	象	仙台YMCA維持会員の皆様、仙台・青葉城・広瀬川ワイズメンスクラブの皆様、招待券をお持ちの方	

仙台YMCAは1905年(明治38年)6月1日に仙台キリスト教青年会として設立され110年が経ちました。これまでYMCA活動を支えて頂きました会員の皆様、東日本大震災支援活動を支下さった皆様に感謝すると共に、新しい出会いの場としてこの度シャンソンコンサートを企画しました。是非、本物のシャンソンを心ゆくまで楽しんでみてはいかがでしょうか。



千葉県市川市出身、日本大学芸術学部演劇科卒業、在学中より浜口庫之助に作詞、作曲、歌唱を有馬京氏にシャンソンを学ぶ。大学卒業後、劇団「表現劇場」を旗揚げし、ミュージカル仕立ての創作芝居を数多く公演。1970年より都内のライブハウスで歌い始める。以来、コンサート、ディナーショー、CM、そして作詞、作曲活動と幅広く活躍している。第1回/リ公演(ル:コネクター・ディナーショー)以来、毎年定期的に公演を続ける一方、中国大連でのディナーショー・コンサート等海外でのショーも多数。2014年10月には東京YMCA 妙高高原ロッジにて東日本大震災チャリティコンサートに出演、2015年にはデビュー45周年記念コンサートを全国各地で公演

【主催】 仙台YMCA  
【共催】 創立110周年記念事業委員会、会員開発委員会  
【後援】 仙台ワイズメンスクラブ、仙台青葉城ワイズメンスクラブ、仙台広瀬川ワイズメンスクラブ、仙台YMCA東日本大震災支援対策室、仙台YMCA職員共済会、井関真人45周年記念コンサート委員会  
【問合せ先】 公益財団法人仙台YMCA 創立110周年記念コンサート実行委員会  
TEL 022-222-7533 (小幡)

仙台3クラブ合同新年例会のご案内

恒例の新年合同例会が下記の通り仙台広瀬川クラブのホストで開催されます。

記

日時：2016年1月20日(水) 19:00～

場所：長町遊楽庵「びすた〜り」

仙台市太白区長町3-7-1(地下鉄・長町駅北2番出口徒歩5分)

☎022-352-7651





▼東日本区渡辺理事メッセージ (要約)

主題:「原点に立って、未来へステップ」



今年もわずかになりました。四季がわかりづらいこの頃です。札幌では60数年ぶりの大雪と報道されています。東日本最北の北見クラブの気温予報は摂氏3度-氷点下2度です。最南の湘南・沖縄部の沖縄地区の気温予報は摂氏25度-摂氏17度との事です。気候に合った地域それぞれの生活様式があるように、ワイズの活動方法もそれぞれの違いがあっても良いのではと感じます。(中略)

今月は「E (Extension-クラブ拡張) M (Membership-会員増強) C(Conservation-会員の維持養育)」の中のMC月間です。東日本区クラブ運営マニュアルに次のように書かれています。

「会員増強(M)はクラブが力強く活動を続けるためには、大勢の会員が必要です。新しい会員を獲得するためには、クラブに絶えず新鮮な魅力と生き生きとした交流が必要です。新規会員獲得のためには一人が一人を紹介するプログラムを実施しよう。

「会員の維持養育(C)」は例会出席率を高めることはクラブの維持・発展に不可欠です。会員の脱落は例会の欠席となって現れます。欠席者に対するフォローは、新会員の獲得と同じように難しいことですが必ず行いましょう。

このように EMC 活動はワイズ活動の根幹をなすもので、すべてのワイズメンは必ず実現に向けた努力と結果が必要とされています。東日本区スタート時の1,246名に向けて、ご協力をお願いします。(詳細は下記ホームページをお開き下さい)

<http://ys-east.jimdo.com/rd-report/>

クラブ・今後のスケジュール

(2016年)

- 1月07日(土) 仙台青葉城クラブ第二例会
- 1月20日(水) 仙台3クラブ合同新年会  
(長町遊楽庵「びすた〜り」)
- 1月23日(土) 石巻広域クラブ第2回準備例会
- 2月04日(木) 仙台青葉城クラブ第二例会
- 2月11日(土) 仙台YMCA職員全体研修会& 110周年記念コンサート
- 2月18日(木) 仙台青葉城クラブ第一例会
- 2月20日(土) 石巻広域クラブ第2回準備例会
- 2月27日(土) 石巻市名振地区「津波石」除幕式

1. 共済会主催職員クリスマス報告

12月6日に共済会主催職員クリスマスを実施いたしました。第1部礼拝を日本聖公会東北地区仙台基督教会祝会にて、第2部祝会をオーシャンファターレで行いました。礼拝には約70名、祝会には61名が参加しました。ワイズの方々とともにクリスマスをお祝いできた事をうれしく思います。

2. 第44回仙台YMCAクリスマス報告

12月2日に仙台YMCAクリスマスが留学生と仙台市民との交流を目的に行われました。留学生41名、幼児25名、小学生30名、学生48名、一般203名合計347名の参加がありました。今回も多くのご支援、ご協力をいただきました。

3. 街頭募金のご協力への感謝

国際地域協力募金の街頭募金の最終回が今年も12月23日に市内4ヶ所で行われました。YMCA各施設からスタッフ、保護者と子ども達、ワイズメンなど多数の方々が参加して行われました。詳細は翌月のYニュースでお知らせいたします。

4. 第30回タイ農村ワークキャンプ参加者募集

日程: 2016年2月22日(月)~3月2日(水)  
訪問地: タイ王国北部 YMCA パヤオセンター及び農村部

团长: 加藤雄一 (仙台YMCA職員)

募集人員: 15名 (最少催行人数8名)

参加費: 180,000円 (分割納入可)

申込締切: 2016年1月20日(水) ※定員になり次第申込締め切りとさせていただきます。

5. 今後の予定 2016年2月11日(木・祝)

第1部 仙台YMCA全体研修会 時間: 9:00~15:00 場所: 東京エレクトロンホール宮城

第2部 110周年記念シャンソンコンサート  
時間: 16:00~17:40 場所: 仙台市市民活動サポートセンター

< HAPPY BIRTHDAY >

12月04日 金原 譲さん

編集後記

まもなく干支の羊年から申年に移ろうとしています。東日本大震災の復興が本格的に進行する中、福島第一原発事故被災エリアの復興はまだまだこれからです。9月には関東・東北豪雨で各地につめ痕を残しましたが、仙台では、3月に国連防災会議、12月には仙台市地下鉄東西線開業など明るいニュースがありました。2016年が皆様にとって素晴らしい年となりますように。一年間、お世話様でした。(弘)